



平成 22 年 12 月 28 日  
内閣府（防災担当）

## 「国際復興フォーラム 2011～よりよい復興に向けた事前復興計画～」 の開催について

被災地の復興過程において、次の災害に備えた災害に強い社会を構築する「よりよい復興」の実現を目指して、我が国や関係国連機関等の連携により国際復興支援プラットフォーム（International Recovery Platform：IRP）が、2005年の国連世界防災会議の成果の一つとして同年発足しました。

IRPは、関係機関の協力の下、復興優良事例などの情報提供、地域復興の助言、能力開発などの活動を行っており、この「国際復興フォーラム」も、これらの活動の一環として、発足以来毎年開催しているものです。

今回のフォーラムでは、国内外の防災専門家が一堂に会し、近年の災害からの復興活動における経験や教訓を共有するとともに、災害が発生する以前から被災後の応急対応や長期的な復興活動を事前に検討する事前復興計画について、その利点や適応可能性等を議論します。本フォーラムの成果は、各国政府を対象とした事前復興計画に関する各国政府向けの手引書として取りまとめられる予定です。

- 1 日時 2011年1月12日（水） 9:40～18:00
- 2 場所 兵庫県神戸市（神戸ポートピアホテル）
- 3 主催者 IRP事務局、内閣府、兵庫県、アジア防災センター、国連国際防災戦略事務局、世界銀行、国際労働機関
- 4 参加者 各国政府関係者、地方自治体関係者、大学関係者等、IRP構成機関関係者等
- 5 会議概要(予定)
  - ・ 基調講演（米国連邦緊急事態管理庁(FEMA)）、最近の被災地からの復興に向けた取組報告
  - ・ 災害からの復興状況報告（中国、ミャンマー等）、復興計画の経験と教訓（兵庫県、ASEAN）
  - ・ パネルディスカッション（事前復興計画の必要性）

### 6 取材について

取材は随時可能です。なお、TVカメラの撮影位置などは主催者のIRP事務局担当者の指示に従ってください。取材を希望される場合は、IRP事務局あてに事前にお問い合わせください。

【IRP事務局】担当：川脇、森本（TEL：078-262-6041、E-mail：info@recoveryplatform.org）

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（災害予防担当）付  
村上（むらかみ）、萱嶋（かやしま）、樋田（とよだ）  
TEL 03-3501-6996（直通）、FAX 03-3581-8933

# 国際復興フォーラム2011

## ～よりよい復興に向けた事前復興計画～



日程:平成23年1月12日(水)

9:40~18:00

場所:神戸ポートピアホテル「偕楽の間」

災害からの復旧・復興活動においては、避難、捜索救助、がれき処理、通信・交通網の回復から、財政的支援、環境や経済への影響評価、復興計画の策定、将来の災害への備えに至るまで、長期に及ぶ様々な取り組みが必要となります。

しかし、これまでの復旧・復興活動のなかには、関係機関の調整不足や対応の重複、摩擦等が見受けられ、災害に対し脆弱な状態が残されるといった問題がありました。

将来起こりうる災害に迅速に対応し、よりよい復興を実現するためには、政府による事前復興計画が重要な対応策となります。災害が発生する以前から復興計画の策定に着手し、がれき処理や救援物資の配分など被災直後の対応から、財政措置や都市計画などの長期的な復興活動を事前に検討しておくことは、災害後の混乱を回避し、復旧に要する期間を短縮するとともに、災害に強い復興を促進することにつながります。

日本では、すでに東京都が大都市の特性を考慮した事前復興計画の整備に取り組んでいるほか、アメリカでは、合衆国連邦緊急事態管理庁(FEMA)が事前復興計画に関するプログラムに着手しています。さらに、ASEANでは、防災・緊急対応協定において、事前復興計画を盛り込み、「復興ツールボックス」の開発にも取り組んでいます。

国際復興フォーラム2011では、よりよい復興の推進に向けた事前復興計画の重要性に焦点を当て、各国政府関係者等によるプレゼンテーションや、出席者全員によるグループディスカッション等を通じて、近年の復興活動における教訓と経験を共有し、事前復興計画の利点や適用可能性について考えていきます。

また、このフォーラムで得られた提言や復興の教訓・経験は、事前復興計画に関する各国政府向けの手引き書として取りまとめられる予定です。



**主催** 国際復興支援プラットフォーム (IRP) 事務局、内閣府、兵庫県、アジア防災センター (ADRC)、国連国際防災戦略事務局 (UNISDR)、国際労働機関 (ILO)、世界銀行 (WB)

**後援** 外務省、国際防災・人道支援協議会 (DRA)、NHK 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 兵庫国際センター／国際防災研修センター

**使用言語**

日本語・英語 (日英同時通訳有り)



# プログラム

発言者等は、一部変更となる場合があります。

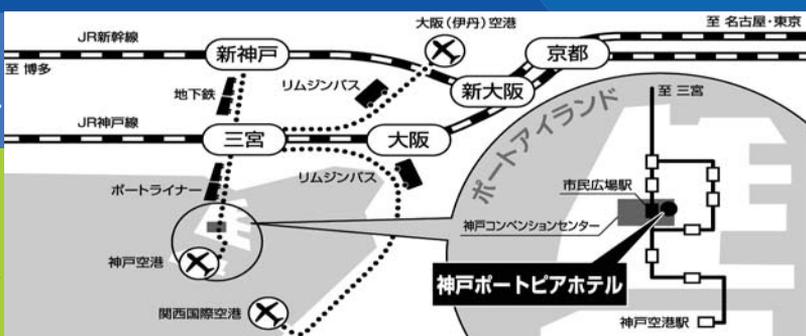


参加費：無料  
定員：120名

9:40～ 9:50	●開会あいさつ IRP 運営委員会議長 サロージ・ジャー 世界銀行防災グローバルファシリティ(GFDRR) マネージャー 長谷川 彰一 内閣府大臣官房審議官(防災担当)
9:50～10:00	●地元からのメッセージ 井戸 敏三 兵庫県知事
10:00～10:20	●「分野別復興ガイドスノート」完成報告 サンジャヤ・バティア IRP事務局 ナレッジ・マネジメント担当官
10:20～10:45	●基調講演～国レベルでの災害復興枠組の開発に向けた取組について～ エリザベス・ジンマーマン アメリカ合衆国国土安全保障省連邦緊急事態管理庁(FEMA) 応急対応・復興担当副長官代理
(～11:00)	(休憩)
11:00～11:20	●特別報告 ハイチ地震からの復興の取組 イヴ・ロベール・ジャン ハイチ共和国計画対外協力省局長
11:20～12:30	●復興状況報告～復興活動からの教訓～ (1) 中国 四川大地震(2008年5月) (2) ミャンマー サイクロン・ナルギス(2008年5月) (3) フィリピン レイテ島地すべり(2006年2月) 議長:アルフレッド・ラザルテ 国際労働機関(ILO)国際危機対応復興計画責任者
12:30～14:00	●ランチ・レセプション ●復興計画～経験と教訓～ (1) 日本 ひょうごフェニックス計画(阪神・淡路大震災) 木村 光利 兵庫県防災監 (2) ASEAN 防災・緊急対応協定における復興計画 議長:是澤 優 アジア防災センター所長
14:00～15:00	●グループディスカッション 出席者が3グループに分かれて討論を実施
15:00～16:30	●パネルディスカッション テーマ:「事前復興計画の必要性」 ・グループディスカッションの各グループより討議結果報告 ・ディスカッション ファシリテーター: ヘレナ・モーリン・ヴァルデス 国連国際防災戦略事務局(UNISDR) 次長 パネリスト: (1) 東京都 (2) アジア開発銀行(ADB) (3) フィリピン民間防衛室国家防災会議 (4) FEMA (5) ASEAN
16:30～17:55	●閉会あいさつ IRP 運営委員会副議長 永井 智哉 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(災害予防担当)

会場  
神戸ポートピアホテル 借楽の間  
〒650-0046 神戸市中央区港島中町10-1-6  
Tel: 078-302-1111 Fax: 078-302-6877  
<http://www.portopia.co.jp/>

- 申込方法: 申込用紙にご記入の上FAX・郵送でご送付いただくか、E-mailでご連絡ください。ご参加には事前申込が必要です。
- 問い合わせ先:  
国際復興支援プラットフォーム(IRP)事務局  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館5F  
Fax: 078-262-6046 E-mail: [info@recoveryplatform.org](mailto:info@recoveryplatform.org)  
Website: <http://www.recoveryplatform.org>



**フォーラム申込用紙** (必要事項は必ずご記入ください。未記入の部分がある場合、お申し込みを受付できない場合があります。)

御芳名(フリガナ): \_\_\_\_\_ 御社名・学校名: \_\_\_\_\_

ご自宅住所(フリガナ): \_\_\_\_\_ 性別 \_\_\_\_\_  
〒 \_\_\_\_\_

電話番号: \_\_\_\_\_ Fax番号: \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_